

いやしのひととき



千代田日記

～ちよだにっき～

今月のごあいさつ

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

今月の最大の話題といえは4年に一度行われるサッカーのワールドカップです。サッカー世界一を決めるこの大会は、南米ウルグアイの地で産声をあげて以来84年。数々のドラマを生み歓喜と失望が渦巻く地球上最大の舞台として人々を魅了し続けております。日本代表は、5大会連続の出場で少しでも世界の高いレベルを目指してもらいたいです。

さて、サッカーといえばテレビ中継ではボールのあるところを中心に映しますが、ドリブルやシュートの技のすごさに感嘆しますが、実はボールのないところでも選手は動いており、その動きが何を意図したもののかを想像するのも楽しみの一つだと思います。スタジアムで実際にゲームを見れば、ピッチ全体が見られるため、テレビの画面では映らなくてわからなかった選手の動きがみられて楽しいものです。物事は一部を切り取って見るのではなく、全体像を俯瞰してみることも大切だとサッカーのテレビ中継を見て教えることもあった気がします。

弊社も世の中の動きの一部分だけを見るのではなく、全体を俯瞰して見て、企業活動を行っていききたいと思えます。

ガンバレ!

ザックジャパン



ご存知ですか?

縁結びの神様「東京大神宮」

先月末、皇室高円宮家の次女典子さまと出雲大社神職の千家国麿さんのご婚約が決まり、今秋挙式と発表されました。大変おめでたいニュースです。記者会見でお二人は「ご縁」について語られていました。縁結びの神様として出雲大社が有名ですが、弊社の本社がある飯田橋に知る人ぞ知る縁結びの神様、「東京大神宮」があります。

「東京のお伊勢様」とも称されるこの神社は、女性に人気のスポットとなっております。そのご利益は「縁結び」。祀られている主祭神は天照皇大神(あまてらすおおみかみ)入伊勢神宮内宮の祭神で太陽神と、豊受大神(とようけのおおみかみ)入伊勢神宮外宮の祭神で農業神です。この二柱と合わせて、天之御中主神(あめのみなかぬしのかみ)・高御産巢日神(たかみむすびのかみ)・神産巢日神(かみむすびのかみ)という「造化の三神」も祀られています。この三柱は古事記の冒頭に出てくる万物創世の神で、この三神の後に次々と神々が生まれ、天地開闢から数え神代七代の最後に生まれたのが、日本を創ったイザナギとイザナミの夫婦神です。この「むすび」を司る三神の働きが「縁結び」にご利益のある神社として知られ、ご縁を求める参拝者が急増中なのです。

皆様もこのパワースポットを訪れてみてはいかがでしょうか。



暮らしの足し算

うちわとせんすの歴史

夏になると、涼をとるために様々な場面で活躍するうちわとせんす。西方ともあおいで風を起こす……という同じ使い方をするものですが、起源は全く違います。

うちわは、古代エジプトの壁画に描かれていたり、紀元前の中国の記録に残っていたり、かなり昔から使われていたことがわかっています。日本でも7世紀頃に伝来したといわれています。現代では、広告が掲載された販促品としても人気があります。花火大会や祭りなどで多くの人が手にしている光景はおなじみですね。

もう一方のせんすは、実は日本で発明されたものです。最初に使われたのは木簡を束ねて作られた「檜扇」(ひおうぎ)と呼ばれるもので、奈良時代から平安時代の初期(8世紀頃)に現れたと言



われています。木簡とは墨で文字を書きつける薄い板のこと。檜扇ははじめはメモ帳だったようです。

やがて日本のせんすは、大航海時代に中国を経由して西洋にまで輸出。17世紀のパリには扇を扱う店が100軒を超え、上流階級の女性のコミュニケーションの道具として大流行したのです。ヨーロッパでは絹やレースを貼った「洋扇」として発展し、孔雀の羽根を用いたものなども作られました。

せんすはコンパクトで持ち運びしやすく、香りを楽しむこともできるなど少し優雅な雰囲気を選んでくれます。夏のオシャレに大活躍ですね。

感動こそがストレスに負けない最大の秘訣。
そして、長生きのコツでもある。

—— 斎藤茂太

精神科医であり随筆家でもあった斎藤茂太。同じく精神科医で歌人の斎藤茂吉の長男として生まれ、二〇〇六年に九〇歳で亡くなるまで、家族や心をテーマにした随筆を数多く出版しました。

「モタさん」の愛称で親しまれた彼は、優しく穏やかな人柄と作風で、今でも多くの人の心をとらえ続けています。

人は、自然の美しさや雄大さに感動したり、映画や小説や音楽などの創作物に心を揺さぶられたり、人々の生きざまに魅せられたり……そんなシーンでは胸が熱くなるもの、自然に涙があふれてくるものです。悲しい涙もふくめ、「泣く」という

行為にはストレスを解消する効果があると言われています。

それは、泣くことでリラックスや安心を促す副交感神経が活性化し、エンドルフィンという鎮静作用をもつ脳内ホルモンが増加するからです。涙を流すことがストレスを解消し、安らかな心をもたらすのは、医学的にも立証されているのですね。

自分の感動するツボを知り、何かの折にはそれらに触れることを意識してみましよう。時には自ら進んで「涙を流す」のもいいかも。



おいしい 毎日の ススメ

夢のATMで幸せを分かち合う

この機械から現金を得た人たちはもちろん、その街に住む人たちやその動画を見た世界中のネットユーザーたちまでが幸福感を味わっていると言っています。

実はこれは、コカ・コーラ社による『シェア・ハピネス』というキャンペーンの一環。深刻な経済危機に陥るスペインの街数カ所に、特別に作ったATMが設置されました。

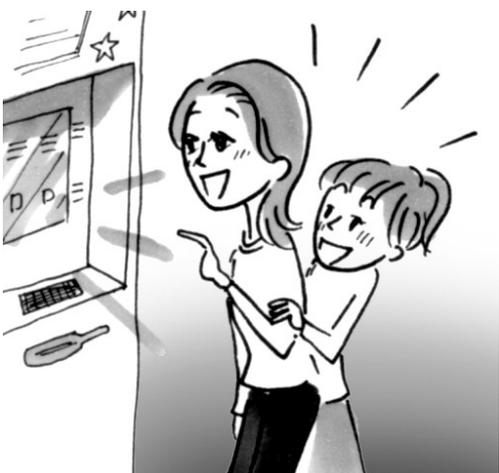
画面には、「キャッシュカードなしで100ユーロ(約一万2000円)を手に入れよう」と表示されます。最初「YES」か「NO」を選択。「YES」を選ぶと、次には「みんなと分け合うことが条件です」と表示されます。さらに、「どのような方法で分けたらよいか、アイデアが欲しいですか?」と出るので、「YES」をタッチすると、他の人に幸せを分け与える方法がいくつか具体的に提案される……という流れ

です。そのアイデアは、「赤ちゃん連れの人がオムツを買ってあげる」「近所に住む人にプレゼントをする」「道行く人に食べ物配る」など、それを受け取った人が嬉しくなり、ちょっとした幸せを感じられるような内容になっています。最後に、現金100ユーロと、「この体験を世界中にシェアして(11分かち合っ)もらえると嬉しいですよ」というメッセージが出てくるのです。

お金を手にした人々が指示に従う保証はないし、従わないからといって罰が与えられるわけでもありません。彼らは自分の好きなように100ユーロを使い、一人で喜びをかみしめることもできるのです。けれども、このATMから現金を手に入れた多くの人が、提案されたアイデアに従って他の人々と幸せを分かち合い、その内容を世界中にシェアしています。動画「Erodero de la felicidad」の訳は、「幸せのキャッシュ」。ATMを発見した人々の反応から、彼らがアイデアどおりの善行をし、それを自ら撮影・公開した様子をまとめたものなのです。これがコカ・コーラ社の広告活動の一つであることは明らかです。けれども、「現金を受け取った人」「幸せを分けてもらった人」「動画を見て感銘を受けた人」の各々の想いが広がり「幸せを分かち合う」という心温まる現象として、世界に波動を起こしたのでした。

街角に設置されたATM機。専用のキャッシュカードはなく、自分の口座からというわけでもないのに、その前に立って操作をしたら現金が出てくる……そんな夢のようなATMがあったら、どうしますか?それが、スペインのいくつかの街に実在しています。

YouTubeにアップされた動画「Erodero de la felicidad」。これは、街中に出現した赤いATMから現金を引き出す人々が映し出されています。そして、想像もしなかった展開が繰り広げられます。



心得の教科書

ペットを飼いはじめる時の心構え

子どもからねだられたり、一軒家に引っ越したりの、何かのきっかけで「ペットを飼いはじめることになった」という話がよくあります。

ペットを飼うという事は、家族が一人増えるのと同じ。どんなに小さな動物でも「命」であることにかわりはありませんから、面倒を見る大変さは子どもと同じです。「可愛いわから」というだけで飼いはじめ、後になって「こんなはずじゃなかった」と頭を抱えることになったら、本当にかわいそうなのはペットばかりです。

飼い主の心構えとして大切なのは「最後まで責任を持って面倒を見る」ということです。時間も労力も費用もかかりますし、ときには飼

主の生活の一部を

犠牲にしなければならぬ場面も訪れます。少し大袈裟かもしれませんが、そんな心構えも必要なのです。

けれども一方でペットは、そんなことを忘れさせてくれるほどの喜びを運んでくれます。「最後まで責任を持って面倒を見る」という心得さえ忘れなければ、愛情や絆は確実に深まります。少しの苦労など全く気にならない、素敵な思い出も増えていくことでしょう。



★に入る体の部分はどちら？

- | | |
|--------------|---------|
| ① ★につばをつける | A.眉 B.指 |
| ② 目には目を★には★を | A.歯 B.耳 |
| ③ ★にいれても痛くない | A.腹 B.目 |
| ④ ★をかえ品をかえ | A.口 B.手 |
| ⑤ 目から★へぬける | A.鼻 B.口 |



① A.眉：だまされないように用心すること。眉につばをつければ、狐や狸に化かされないという俗信から生まれた。

② A.歯：ハムラビ法典に書かれた法律。「罪を犯した者は、同等のもので償わなければならない」という戒め。

③ B.目：ひどくかわいがること。子や孫をかわいがるさまの例え。

④ B.手：様々な方法を試みる事。あの手この手と手法を変えるさま。

⑤ A.鼻：非常に利口で賢いさま。また、判断がすばやく抜け目のないこと。